

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	11 道路
事務事業名		06	道路等維持管理事業
		根拠法令・例規等	道路法
		問 担当課(室)	都市整備課
		合 職・氏名	土木係長 尾野田瑞穂
		先 電話	0869-64-1850
		このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	道路を通行する歩行者・自転車・二輪車・車両
目的 (何のために)	安全で安心して円滑に道路を通行するために。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	道路維持管理の不備による事故発生を未然に防ぐ。

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	道路維持管理事業		
	橋梁維持管理事業		

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		34,215	40,016	58,324
	必要人員(人件費)	千円	1.41人	1.18人	0.85人
	事業費		10,544	9,212	5,801
	事業費計		44,759	49,228	64,125
	国県支出金				2000
	受益者負担				
財源	千円				
繰入金					
その他( )					
一般財源			44,759	49,228	62,125
受益者負担比率	%				
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	維持修繕箇所数(工事請負費+需用費)		133	153	152
	対前年比	%	-	115.0%	99.3%
	活動コスト	円	34,215,000	40,016,000	58,324,000
	単位当たりコスト		257,256	261,542	383,711

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
道路の維持管理の不備が原因となる事故発生件数	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	0	1	1	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明					
道路の維持管理の不備が原因となる事故発生件数					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>A</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>B</b>
有効性の評価	目的達成度 市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> <b>B</b>

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	限られた予算の中で、修繕内容を十分精査し、危険性、緊急性の高いものから実施をしていく。					

総合評価	
人件費の削減がされていることから、本事業が効率的に行われていると言えるが、道路施設の老朽化が進んでいることから、事業費は増えている。このことから、修繕内容を十分精査し、安全・安心の観点から危険性、緊急性の高いものから実施していく必要がある。	評価区分 <A-E> 

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	限られた予算の中で、危険性・緊急性の高いところから実施していく必要があるが、修繕箇所の早期発見、対応により、費用の縮減および事故の発生を未然に防ぐ。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項の目的やその数値目標を達成するための下書きを